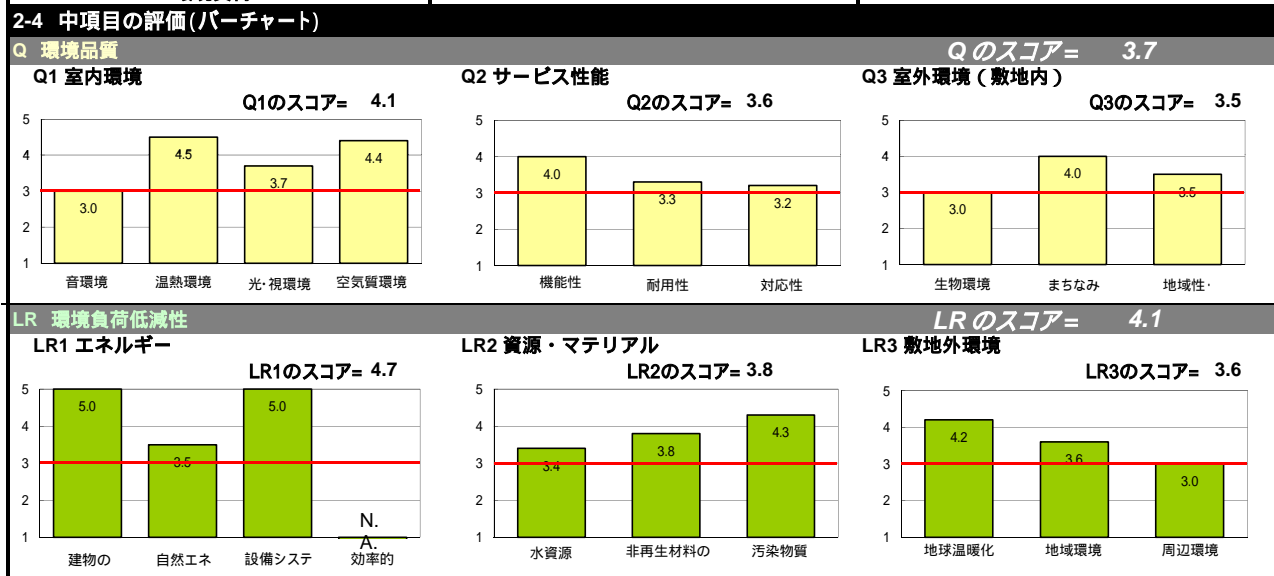
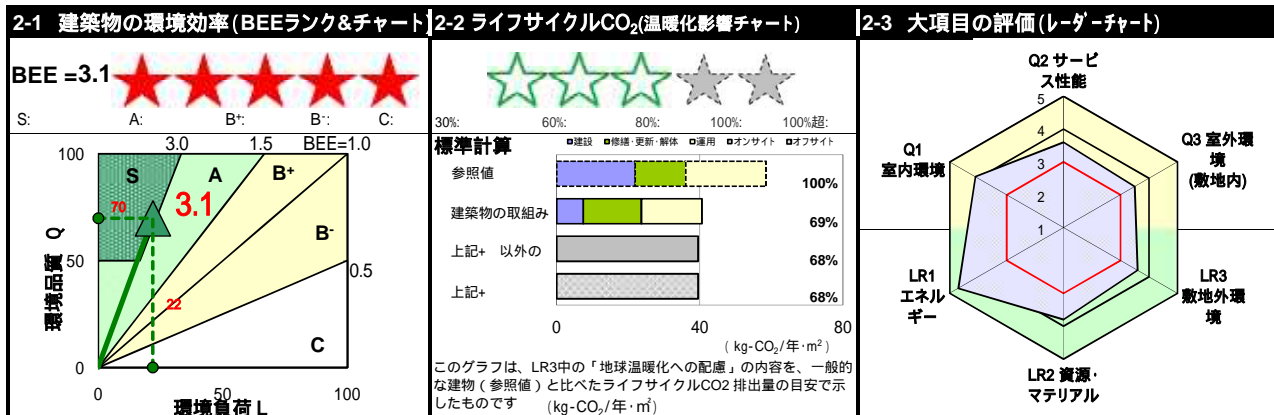


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)市営上河内住宅	階数	地上5F
建設地	海老名市上河内字永池240番2外6号	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域より指定無し	平均居住人員	35人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2013年12月1日
敷地面積	3,269 m ²	作成者	(株)市浦ハウジング&プランニング
建築面積	771 m ²	確認日	2013年12月10日
延床面積	2,602 m ²	確認者	(株)市浦ハウジング&プランニング



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>高齢者や車椅子利用者の入居に配慮したユニバーサルデザインを心がけている。また太陽光パネルの設置や日本住宅性能表示基準の省エネルギー性能等級4取得など、自然エネルギーの有効利用と省エネルギーに配慮している。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>2.1.3外皮性能において、住戸部分は日本住宅性能表示基準の省エネルギー性能等級4を取得することで、外界からの熱的侵入を抑制し、室内温度を維持するように努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>1階住戸(4戸)は車椅子入居者に配慮した住宅とし、住戸内に回転スペースを確保したり、車椅子から浴室へ移動し易いように、浴室の出入口に段差を設けている。その他の住宅は高齢者の入居に配慮して、住戸内の段差を小さくしたり、補助手摺を設置できるように下地補強を行っている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内の暑熱環境を緩和するために、敷地面積の20%を緑化する計画としている。戸建住宅地と田畑という周辺のまちなみに調和するように、屋根を勾配屋根とし、外壁は倉をイメージする白を基調色とし、アクセントカラーとして土をイメージする黄色系を採用している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>日本住宅性能表示基準の省エネルギー性能等級4を取得することで、熱損失・熱取得の低減につとめ、冷暖房による使用エネルギー量の削減に努める。また屋根に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効活用を図る。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>設備配管を通すPSを住戸内には設けず、共用廊下に設置することで、内装材と設備が錯綜せず、分別を容易にすることでリサイクルを促進する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>日本住宅性能表示基準の省エネルギー性能等級4を取得することで、エネルギーを効率的に利用し、建築設備から大気への排熱量を低減するように努めている。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される